

# 株式会社 十八測量設計 様の両立支援の状況

## 【基準を満たしている項目】

### 行動計画で定めた目標を達成したこと

行動計画で定めた目標は以下のとおり

○年次有給休暇の取得日数を1人あたり平均年間7日以上とする

→管理職に対し、年次有給休暇取得促進の目標を共有。さらに休暇取得を促す取組として、休暇取得促進のポスターを掲示。結果、令和4,5,6年度の年次有給休暇取得日数は1人あたり7日以上となった。

### 計画期間中における育児休業取得率

男性の育児休業取得率：100%

3歳から小学校就学前までの子を育てる労働者を対象とした  
短時間勤務制度を講じていること

時間外労働及び休日労働に関する状況 合計時間数が各月全て45時間未満

○直近の事業年度における労働者一人当たりの各月ごとの時間外労働及び休日労働の合計時間数

子を出産した女性労働者のうち、子の1歳誕生日まで継続して在職している者の割合：100%

メンター制度を導入し、育休取得予定者・復職者を継続的に支援



Q1 仕事と子育ての両立の取組において、従業員の方の声をお聞かせください。

(育児休業を取得した男性社員の感想、両立支援にあたっての上司・同僚の声などをご回答いただければと思います。)

A 1

〈育児休業を取得した男性社員の感想〉

育児休業を取得して、まず率直に「取得して良かった」と感じています。生まれたばかりの我が子と長い時間を共に過ごすことで、父親としての自覚が芽生えましたし、その経験が育休から復帰した後の仕事への意欲にもつながっています。また、育児の大変さを身をもって理解できたことで、復帰後も妻の状況に寄り添いながら働くことができています。

育児を通じて妻と協力し合う時間が増えたことで、夫婦の信頼関係がより深まったと感じています。さらに、妻のご両親の支援状況に左右されることなく、私自身が積極的に育児に関わることで、妻の負担を軽減することができました。子どもと過ごす時間が多く持てたことも、子どもへの愛情を深める大きなきっかけとなりました。

一方で、育休を取得するにあたっては、職場の上司や同僚の理解と協力が不可欠であることも強く感じました。業務の引き継ぎや不在時の対応をお願いする必要があるため、周囲のサポートがあってこそ成り立つ制度だと実感しています。また、育休は誰でも簡単に取得できるものではなく、職種や立場によっては取得が難しい場合もあることを考えると、制度のさらなる整備と理解促進が求められると感じました。

〈両立支援にあたっての上司・同僚の声〉

両立支援制度を活用する社員が増えることで、働き方の多様性が着実に広がっています。制度を利用しやすくする環境整備はもちろんのこと、周囲の理解を深めることも欠かせません。チーム内での理解や事前の業務調整に加え、今回は顧客からも快くご理解をいただけたことが非常にありがたく、心強く感じました。今後も、職場全体で支え合える文化を育みながら、誰もが安心して働ける環境づくりを進めていきたいと思っています

Q2 行動計画における仕事と子育ての両立支援や働き方の見直しの取組において、職場内でどのような影響がありましたか。

男性の育児休業を取得した社員は、職場・同僚の理解あって成り立つ制度だと周囲への感謝の気持ちを今まで以上に強く持つようになったと感じています。次世代を担う若い社員は先輩社員が制度取得を行ったことで、今後自分たちも制度を取得できることを認識できたと思います。こういった事例を通じ、職場全体として今求められている子育てに対する理解が深まっていくのを感じました。

Q3 今後の子育て・次世代支援において会社で特に力を入れて取り組みたいことを教えてください。

若い世代が意見を出しやすい雰囲気づくりに取り組みたいと思います。

その中で会社として整備・対応できる制度については寄り添いながら柔軟に対応し、若い世代が働きやすいと思える職場にしたいと考えています。